



平成27年10月8日

各 位

会 社 名 株式会社セブン&アイ・ホールディングス
代表者名 代表取締役社長 村田 紀敏
(コード番号 3382 東証第一部)
問合せ先 執行役員 IR 部シニアオフィサー 松本 忍
(TEL. 03-6238-3000)

事業構造改革について

当社グループは持続的成長に向け、「過去のチェーンストアからの脱却」「店舗主体の運営、地域性品揃え等の体制強化」「オムニチャネル戦略の推進」を重要課題として事業を推進しております。

特に、(株)イトーヨーカ堂及び(株)そごう・西武におきましては収益性の改善に向け様々な対策を既
に実施してまいりました。一連の施策を効果的に実行し、お客様に一層支持される店づくりを実現
するため、本日両社の取締役会において新たな施策を決定いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. (株)イトーヨーカ堂

(1) 推進中の事業構造改革

- ① 組 織 変 更 : 本部主体から店舗主体への営業体制の移行
- ② 店 舗 運 営 戦 略 : 独立運営店舗の全店への拡大
- ③ 売 場 活 性 化 : テナントミックスによる品揃えの強化
- ④ 既 存 店 改 装 : 鮮魚・精肉対面販売、惣菜品揃え等の強化による食品部門の強化
- ⑤ 在 庫 削 減 : 単品管理に基づき大幅な在庫削減の実施

(2) 下期以降実施する構造改革

- ① 店 舗 政 策 : 首都圏を中心とした立地優位性を発揮
: 地方エリアは食品中心に提携企業との連携強化
- ② 売 場 活 性 化 : 品揃え強化の一環としてのテナントミックス強化
: 子会社化した(株)モール・エスシー開発と連携し更なる推進を図る
- ③ 新 規 出 店 : 収益の見込める SC 型、食品特化型店舗の出店に集約
- ④ 生 産 性 向 上 : 本部人員を 3 割削減し、本部機能の一部を店舗に委譲する
収益改善の見込めない店舗は今後 5 年間で 40 店舗閉鎖
加えて人員の適正化を実施

2. (株)そごう・西武

(1) 推進中の事業構造改革

- ① 基 幹 店 舗 強 化 : オムニチャネル本格稼働に合わせた自主商品開発と売場編集連動
- ② 地 方 店 舗 強 化 : 地域特性に合わせた品揃え拡充、新サービスの導入、SC 化の推進

(2) 下期以降実施する構造改革

店 舗 政 策 : 春日部店閉鎖(平成 28 年 2 月末日)

以 上